

ティーチング・ポートフォリオ(教育業績ファイル)

教員氏名	浦 丈彦
主な担当科目	オーケストラ・スタディ特別演習①,音楽活動研究①②,楽器研究,基礎ゼミ,合奏Ⅰ①②③④/Ⅲ①②③④/合奏特別演習①②(月曜5限)(オーケストラ),合奏Ⅰ①②③④/Ⅲ①②③④/合奏特別演習①②(月曜6限)(オーケストラ),合奏Ⅰ①②③④/Ⅲ①②③④/合奏特別演習①②(木曜2限)(オーケストラ),合奏Ⅰ/Ⅰ①②/Ⅱ/Ⅱ①②/ⅢⅣⅤⅥ/室内楽演習ⅠⅡ_木管C(木曜3限),合奏Ⅰ/Ⅰ①②/Ⅱ/Ⅱ①②/ⅢⅣⅤⅥ/室内楽演習ⅠⅡ_木管K(月曜3限),卒業研究(レッスン),器楽
2024年の教育目標・授業に臨む姿勢	わかりやすい言葉を使って、学生の各々の成長速度に合わせて指導することを心がけたいと思います。専門的な話をするときもその裏の基本的動作の重要性をしっかりと理解してもらうように繰り返し伝えたいと思います。常に学生の目線たち押し付けにならないように気をつけて指導致します。
2024年の教育に関する自己評価	学生の目線に立って、わかりやすい指導はできたかと思っています。ただ成長速度が遅い学生に対して全てを手取り足取り教えすぎて、学生自身が自分で考える力を持つことを阻害してしまったのかもという反省も少なからずあります。
2024年のFD活動に関する自己評価	FD研修会に参加して多くの先生方とディスカッションをすることで、さまざまな異なる環境で育ってきた学生に対する対応が共感できることや、経験のない事柄も知れ、長年の演奏活動で染みついた自分のことを優先しがちな習慣から、対人関係要するに学生とのコミュニケーションを最優先する考え方にはっきりシフトチェンジすることができるようになったと感じています。
授業改善のために取り入れた研修内容	これは前年度から取り組んでいますが、名前をファーストネームで呼ばずに苗字で、さん付けすることは日常になりました。学生の自立というものも考えて、こちらの意見を言うばかりでなく、学生の意見をまず聞いてそこから考えられる方向性を一緒に考えるようにしました。

2023 年度(後期)「学生による授業アンケート」結果に対する授業改善計画書

教員コード:2525 教員名:浦 丈彦

1)アンケート結果に対する所見

音楽活動研究の評価に対しては、率直に授業内容がまだまだと感じるものがある。
室内楽当別演習に関しては、素直に満足してもらえて良かったと感じている。

2)要望への対応・改善方策

音楽活動研究では、学生とのコミュニケーションをとりながら進められているという項目の評価が少しでも上がるように工夫していきたい。
室内楽は、100%というのは素直に受け取ってもいいが、専門分野であるから、もっと賛否両論あるような刺激のある時間にしていきたい。

3)今後の課題

一方的な情報の伝達ではなく、少しでもディスカッションしたり、コミュニケーションをとりながら、お互いが考える時間となるように授業の仕方を工夫していけたらと考えている。

以 上